

ツマベニチョウだより (第8号)

◎ 大島の植栽ボランティアに参加しました。

南郷町恒例の「緑の日の大島植栽ボランティア」に今年も参加しました。当日(4月29日)は快晴に恵まれ、子供連れやお年寄りなどを含む町内外の約150名の方達が、あの素晴らしい景観のなかを喜々として植栽される姿に感動しました。今回は町ご当局のお手配で350本のハイビスカスの苗が用意されましたので、沿道のあちこちに皆で植えました。私もランタナの苗10本を持参して寄贈しました。そして秋頃に更に50本のランタナを植えて戴くことを南郷町の谷口助役様が約束して下さいました(第7号でお知らせしました「宮浦トンネル入口付近のランタナから得た苗」が目下自宅の庭で生育中で、これを充てるつもりです)。

たまたまそこでお会いした南那珂教育事務所の園田和宏様から「今年の夏、南那珂2市2町の中学生の合同キャンプを行なう予定で、期間中に記念植樹をすることも計画している」と伺いましたので、「その際ツマベニチョウの蜜源となるランタナを、参加する生徒の数だけ差し上げますので植えて戴けませんか」とお願いしましたところ承知して下さいましたので、毎日ランタナの生育に励んでいます。

◎ 鶴戸神宮にギョボクとランタナの苗を植えました。

宮崎県公園協会事務局長の田中義信様のご厚意により、青島の亜熱帯植物園で昨年4月から丁度1年間育てて戴いたギョボクの3年生の苗10本と、自宅で育てたランタナの苗10本を5月7日に鶴戸神宮に持参して植えさせて貰いました。その際日南市の利風園の加藤社長様にもお出で戴き、夏に寄贈する100本のランタナの植栽場所などを、杉田宮司様ともども検討して貰いました。(利風園では「宮浦トンネル入口付近のランタナから得た苗」を沢山育成中です)。植栽作業中、ツマベニチョウがまるで私達を歓迎するかのように沢山飛んでくれました。杉田宮司様の「近ごろよく飛んでいます」とのお言葉に、早く蜜源となる花々を植えなければ食糧難になるのでは…と思ったことでした。

◎ 猪崎鼻にギョボクを植えて戴くことになりました。

日南市の猪崎鼻のユースホステルが日南市に移管されるのに伴い、「観光面の付加価値を付けるためにチョウの好む樹木や草花を植えては如何でしょうか。また地形的に大島と鶴戸の間に位置する此処にギョボクやランタナなどを植えたら、ツマベニチョウが棲むようになるのではないのでしょうか」と、関係行政機関の方々に陳情しましたところ、このほど「ギョボクの苗の提供が出来るか」とのお問い合わせがありました。幸い発芽前の5年生位のギョボクを菊地清子様から2本、2~3年生の苗20本余りを長渡達夫様から戴いていますので「喜んで差し上げます」とお答えしました。そこで「幼虫用のギョボクだけでなく成虫用のハイビスカスやランタナなどを植えて下さい。私に手持ちの苗の余裕はありませんが、日南市の利風園でランタナを沢山育てておられますので、分けて貰えるのではないのでしょうか」と申し上げました。その点についてもご検討戴くようですので、大いに期待が持てそうです。

◎ 蜜源用のアメリカノウゼンカズラの挿し木をしました。

昨年の秋佐多岬に行きました際に、ツマベニチョウがアメリカノウゼンカズラにいっぱい群れていました。調べてみましたらこの木は冬にも強く、挿し木でも容易に増やすことができると分かりました。そこでまだ20本足らずですが自宅で育てています。

平成11年5月25日

海老原秀夫